



Profile

竹生(ちくしょう) 代表 川原守人さん

たけのこ栽培を中心に竹を活用した事業を展開する「竹生」。竹林整備で不要になった竹を竹チップにして販売するなど、活用方法を独自に生み出し、新しいタイプの経営モデルを作るために奮闘している。2019年からYouTubeへの投稿を始め、竹林整備の様子などを紹介した「チャンネルバンくん」は登録者3万人を超える。



竹にハマって人生変わった 竹を基点に考える阿南の未来

昔から探究心が強い川原さん。今、夢中になっているのが、竹だ。川原さんは先祖代々続いたたけのこ農家。JAに勤めていた8年間、休日の僅かな時間も竹林整備にあてるほどの熱中ぶりで、そこで得た「いかに素早く、効率よく整備するか」といったノウハウを自身のYouTubeチャンネルで発信。現在は使わなくなった農機具のリサイクルなども手がけ、たけのこ栽培を軸に何足ものわらじを履いて生計を立てている。

そうした活動の中でも最も力を入れているのが、竹林整備の際に廃棄処分となる竹の有効活用。竹チップに加工し、農業用資材として活用する方法を模索している。「これが成功すれば資源を無駄にせず済みます。地元阿南からSDGsに繋がる新たな取り組みを起し、環境保全や景観の維持といった好循環を生み出したい」と熱く語った。

また農業以外にもバイクが好きが高じてガレージを備えたバイカー向けの民泊事業も手がけ、災害時には避難者を受け入れる新野町シームレス民泊協議会の会長も務めており、地域活性化にも熱心に取り組んでいる。